

A woman with short dark hair, wearing a white dress, is sitting on the grass under a large cherry blossom tree. She is holding an open red book and looking to her left. The tree has many white cherry blossoms with pink centers. In the background, there is a wooden fence and a stream. The overall scene is peaceful and scenic.

Spring 2016

Vol. 30

JAPANESE RED CROSS  
SOCIETY FUKUOKA  
PREFECTURAL CHAPTER  
THE SPECIAL NURSING  
HOME  
HOJYUEN

豊 寿 園  
FRUIT FULL TREE  
豊かな樹

TOPICS

HOJYUEN'S ALBUM

AREA INFORMATION

CARE MEMO

MORE CROSS

SPECIAL SECTION

## トピックス

T O P I C S

## 口腔ケアの充実をめざし、人員体制を整備しました！

豊寿園では、新たに歯科衛生士を1名採用し、口腔ケアを推進していく体制を整備しました。

高齢者の口腔ケアについては、食事をとる事だけでなく、誤嚥性肺炎の予防や嚥下機能の改善など、その効果は広く認められているところです。

豊寿園では、ご入所いただいています利用者様の健康管理を充実させることを目的に、協力歯科医院である平塚歯科医院の平塚先生指示のもと、歯科衛生士が中心となって充実した口腔ケアが提供できるよう目指してまいります。



【4月から特養の利用料に変更があります】

○ 口腔衛生管理体制加算 約30円/月    ○ 口腔衛生管理加算 約110円/月  
合計 約140円/月 増額となります。ご理解くださいますようお願いいたします。

## 夜間想定消防訓練を行いました！

3月23日(水)に、豊寿園内で夜間に出火したことを想定した消防訓練を行いました。

1階の浴室付近から出火したという想定で、初期消火から、利用者様を安全な場所へ非難誘導するまでの流れを確認していきました。

また、豊寿園では、近隣施設、地域自治会との防災協定を結んでおり、外部からの応援者が来た場合の対応方法も確認しました。今後も定期的な訓練を行い、万が一に備えてまいります。



## 自己評価報告会を行いました！

2月24日(水)に、豊寿園のサービス内容や管理体制の自己点検を行う、自己評価報告会を行いました。

当日は、豊寿園の職員に加え、八坂、木邊両外部委員を加え、各点検項目について意見交換を行いました。また、平成27年度中に利用者様やその他関係者からお寄せいただいた苦情内容の報告とその分析を行いました。

豊寿園では、平成28年度も、お寄せいただくご意見等を真摯に受け止め、常にサービス内容の改善に努めてまいります。

# 新入職員・人事異動のお知らせ

平素より、特別養護老人ホーム豊寿園に温かいご支援、ご協力を賜わり、心から御礼申し上げます。

この度、4月より特別養護老人ホーム豊寿園の医務課に着任しました。これまでは、福岡赤十字病院勤務、同支部の訪問看護ステーション、ケアプランセンターに勤めてまいりました。主に急性期、治療期の疾患の利用者様の看護やケアプランを担当させて頂いていました。これからは、入所やデイサービス、ショートステイご利用の方の生活ニーズや健康管理を、予防的視点から看護に取り組んでいきたいと思っております。豊寿園では、昨年度から、生活の延長の中での看取り介護を行う体制を確保しています。

利用者様ならびにご家族の皆様から、安心してサービスを受けて頂けるように研鑽してまいります。また、ボランティアの皆様、地域の医療機関、介護事業所のご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

医務課長 八田 珠美

はじめまして。  
事務課で経理を担当します  
坂本です。  
一日も早く職場の雰囲気に  
慣れ、楽しく仕事をしたいと思います。  
よろしくお願いいたします。

事務課 主事  
坂本貴史



はじめまして。  
4月から豊寿園に勤める  
事になりました。  
今までは、介護老人保健施設  
で働いておりましたが、特別  
養護老人ホームでの勤務は初め  
てになります。  
分からない事も多いですが、少  
しでも早く、豊寿園に貢献でき  
るように頑張りたいと思いま  
すので、よろしくお願い致します。

医務課 理学療法士  
榎田 幸平



はじめまして。  
長崎出身で北九州市立大学を  
卒業し、豊寿園の事務を担当し  
ます。社会人1年目で不慣れな点も  
多々あると思いますが笑顔を絶やさず  
頑張りますので、ご指導よろしくお願  
いします。

事務課 主事  
辻畑みのり



はじめまして。  
歯科衛生士の  
佐伯です。  
赤十字のことも、介護の事も  
初心者なので何かとご迷惑をおか  
けすると思いますが、どうぞ  
よろしくお願い致します。  
お口の健康は、体の健康です。

医務課 歯科衛生士  
佐伯 千穂



## 退職

医務課長 川尻史子  
 作業療法士 矢形彩子  
 調理員 今井 保  
 事務 西濱智美

経理係長 石田悟郎  
 看護師 横山富美子  
 介護士 脇田美鈴  
 夜間警備 篠原英夫

## 異動

藤田梨絵 事務課主事 → 日本赤十字九州国際看護大学  
 荒木美奈 生活相談係長 → 通所介護係長、デイサービス管理者  
 坂根琢也 通所介護係長 → 在宅介護係長、居宅管理者  
 林田浩彦 デイサービス → 2階特養棟  
 城戸匡美 居宅管理者 → 居宅ケアマネジャー兼生活相談係

医務課 看護師  
平田 裕子





豊寿園  
アルバム



お雛まつり  
Girls Festival



節分  
Setubun



デイサービス  
dayservice



## 地域ぶらり情報



### 石窯で焼かれた 本格的ピザ

門司駅南口から向かいの路地に入るとビルの1階に『BONGO』があります。2014年9月23日に小倉北区より移転してきました。お店のこだわりは、石窯で焼くピザ。高温で焼くから生地はパリッとモチリしています。もちろん生地も一から手作りで。お昼から夜までOPENしているので、ランチ（スープ、サラダ、ドリンク付き）やコース（7品）が楽しめます。ピザはテイクアウトもできます。お昼のランチは750円〜で、一番人気はビーフシチュー。コースは2000円〜で、最近パエリア（3500円）を始めたそうです。門司に来た際は、ぜひ『BONGO』に寄ってみてはいかがでしょうか。

#### ・門司の駅前Cafe BONGO

北九州市門司区柳町2-2-6  
TEL 093-342-7205  
定休日 火曜日  
OPEN 11:00~23:00  
(ランチ 11:00~15:00)

## Present

広報誌『豊かな樹 No.30』を持ってこられた方には、ランチセットにデザートをプレゼント。

## あとなぎ

長く感じられた冬も終わり、豊寿園に桜咲く春がやってきました。今年は、新しい顔ぶれや部署の異動など、装いを新たにして迎える春となりました。

豊寿園の新年度は、これまでの取り組みをさらに充実させつつ、口腔ケアの推進という新たな目標に向かって進んでいくこととなります。

また、昨年度実施した徘徊模擬訓練など、「認知症」の方が住みやすい町作りにいかにして参画していくか、というテーマにもより積極的に取り組んでいきたいと考えています。

このたび、新卒者として豊寿園に赴任した辻畑さんは22歳です。自分の22歳当時を思い起こしてみると、もっと引き締まった体で、もっとフットワーク良く業務に臨んでいたはずなのですが、あの時から十数年経った今では見る影もなくなっていました。

あの頃のようにとはいきませんが、皆で協力して豊寿園、赤十字の今をお伝えしていきますので、今年度も豊寿園の広報活動に乞うご期待ください。

平成28年度広報委員 森 英樹



今回表紙を飾ってくれたのは、1階特養棟の前田亜由美さんです。入職以来、1階一筋の7年目の中堅職員です。夜勤明けにもかかわらず、元気に写真撮影に参加してくれました。

# 介護一〇メモ C A R E M E M O

今回のテーマは「ターミナルケア」です。豊寿園も昨年度よりターミナルケア（看取り介護）に取り組んでいます。認知症を抱えた最期の迎え方。考えてみませんか。

## ターミナルケアとは

ターミナルとは終末期の事です。余命わずかになってしまった人へ行うケアを、ターミナルケア（終末期医療、終末期看護）と言います。

延命を行わず、身体的にも精神的にも苦痛を伴わないように看護や介護をし、ご本人らしく人生の最期を生きる為に行われるものです。

癌などの病気では、病状から大体の余命が予測出来ますが、認知症では、いつからターミナルとするか判断は難しくなりますが、一般的には寝たきりになり介助をしても食べられなくなった（飲み込めなくなった）時から、ターミナルとされることが多いです。

## 延命するかは本人、家族が決める

食べられなくなっても、経管や胃瘻などで栄養を摂れるようにすれば、余命は長くなります。医療の現場では「延命＝積極的な治療」ですが、認知症での延命は経管栄養や胃瘻などを行うかどうかになるかもしれません。経管栄養などを行わないとなれば、余命は短くなります。

経管栄養などにするかしないかは、本当ならご本人の意思で決められるものですが、認知症ではターミナル近くになると、意思確認が難しくなっている事が多く、その場合は家族の意思になります。

## 認知症のターミナルケア

ターミナルケアのポイントは、いかに穏やかに最期を過ごせるかと言う事になります。介護施設でも家族がいる人は家族と過ごす時間を作り、また家族がない人でも、職員が寄り添います。

アルツハイマー型認知症では、認知症以外に病気を患う事がなければ、食べられないという身体的な機能の衰えが見られた頃には、認知症もかなり進んでおり、意思の疎通が難しくなっていたり、痛みなどへの反応も鈍くなっている場合があります。ただ本当に苦痛がないのか、ただ訴えが出来ないだけなのかは、判断が難しくなります。

アルツハイマー型以外の認知症では、飲み込めないという身体的な衰えが、認知症の進行よりも早く見られる場合もあり、意思の疎通がある程度でき、痛みや不安を聞けるのでしたら、ご本人の意思を確認しながら苦痛を取り除き、安楽に最期を過ごせるように介護をしなければいけません。

## ターミナルを迎える場所を決める

最期を迎える場所はどこが良いのか、家族で相談しましょう。

医師や訪問看護師の協力を得ながら自宅で最期を迎えるのか、施設で最期を迎えるのか。また施設で生活していても、容態が急変した場合は病院へ搬送し、病院で最期を迎えるのか。これはご本人の意思が確認出来ない場合は、家族が考える必要があります。そして、訪問看護師や介護施設などにその旨を伝え、家族や職員などが同じ思いでターミナルケアが行えるようにします。

自宅で最期を迎えたいと願う人の理由は、住み慣れた家で、また容態が急変しても必ず家族がいるので安心出来るというものが多くなります。施設では終の棲家として入所している場合が多く、自宅と同様の考えで最期を迎えたいという人が多いようです。病院では、自宅や施設にいても、容態急変で苦しむ事がないよう、出来るだけの事をしてもらいたいという希望がある場合になります。ご本人だけでなく、家族も納得がいく最期を送れるように考えてください。

資料引用：認知症ケアねっと <https://info.ninchisho.net>



## 門司区で初の徘徊模擬訓練 開催

2月20日(土)に、豊寿園のある北九州市門司区の松ヶ江北校区自治会の皆さんと一緒に、徘徊模擬訓練を行いました。門司区内では、初の試みです。

当日は、地域内で生活されている方と、豊寿園入所中の方が行方不明になったという想定で、地域内を班を組み、歩いて搜索しました。

あいにく、朝から雨が降っていましたが、皆さん傘を差しながら熱心に搜索にご参加いただきました。

訓練には、校区自治会の皆さんの他に小学生も多く参加していただき、その他には北九州市認知症対策室、地域包括支援センター、門司区社会福祉協議会などの行政関係者、門司警察署、認知症・草の根ネットワークなど沢山の関係者や、近隣の施設職員の方々も含め、総勢で80名にご参加いただきました。

搜索は、6班に分かれてあらかじめ決めたエリアを分担して行いました。出発から約30分ほどで2名の行方不明者が発見され、無事保護することができました。

行方不明者を発見した班のメンバーは、大人、子供問わず、事前に勉強した声掛けの方法を活かし、いろいろと内容の変わるお年寄りの訴えをうまく受け止めつつ、やさしく道案内をされていました。

参加者からは、「地域内の幅広い年齢層が一つになることができた」、「地域内を実際に歩くことで、知らなかった場所や危険な箇所を意識することができた」などの意見が挙がっていました。

豊寿園では、今回の訓練のように、地域の方々とともに認知症の方にやさしい町作りの実現を目指して、これからも様々な取り組みを行っていききたいと思います。







**3月23日**  
**「赤十字ボランティアオリエンテーション」を開催**

園内で「赤十字ボランティアオリエンテーション」を開催しました。当日は、ボランティアを始めてみようとお考えの方を対象に、日本赤十字社の健康生活支援講習の教材をもとに、ボランティアの心がまえや、介護に関する知識・技術を学んでいただきました。また、活動の実践例としてリネン交換の方法や、リラクゼーションの手技を学んでいただきました。



**2月10日**  
**きたきゆう体操DVD作成に参加**

芋洗坂係長と一緒にキャラバンメイト(認知症サポーター講師)である、奥水介護課長と荒木通所介護係長が撮影に参加しました。

**3月15日**  
**清掃ボランティアに参加**

関門海峡めかり駅周辺で「門司を美しくする会」の清掃活動に参加しました。

**2月18日**  
**新門司保育所の園児さんと交流**

新門司保育所をデイサービスの利用者様3名が訪問しました。一年間を通して様々な行事と一緒に行いました。利用者様は、このたび卒園する園児さんに「がんばってね」と声をかけられていました

私たちは、忘れない。



災害はいつやってくるかわかりません。備えていますか、日頃から。

東日本大震災では、多くの尊い命が失われ、多くの方が被災しました。

これまでの地震対策では、被害をゼロにする「防災」が長く叫ばれてきました。しかし、阪神・淡路大震災や東日本大震災を経験した後、一人一人の日頃からの備えや心構えが被害を最小限に減らすという「減災」の考え方と、それに基づく行動がより重要になってきました。

いざ地震が起きた時、できる限り被害を少なくするために、自分自身や地域・組織でできる減災対策を立てておきましょう。

災害後の救助や救援物資の到着までに、最低限必要なものを準備しましょう。自分や家族の状況に応じて必要なものを持ち出しやすいようにリュックサックなどにまとめておきます。重くならないように、必要最低限のものを選びます。貴重品は身につけ、それ以外のものは背負えるようにします。また、日頃から懐中電灯や笛などを枕もとに置いておきましょう。

### 非常持ち出し品(一次持ち出し品)



準備した備品等は必ず点検・見直しをしましょう！

準備しただけで安心してはいけません。いざという時、役に立つように定期的な点検・交換・見直しが必要です。

- ・食品や飲料水が傷んだり、期限が切れていないか。
- ・道具類は万全の状態か。
- ・電池、燃料などの予備はあるか。
- ・家族の現状に合ったものか。

未曾有の被害をもたらした東日本大震災から5年  
「 私 た ち は 、 忘 れ な い 。 」

日本赤十字社（以下、日赤）では、東日本大震災から5年が経過した3月に、「私たちは、忘れない。」～未来につなげる復興支援プロジェクト～を展開しました。

このプロジェクトは、震災から5年の節目に改めて当時を想起することで、風化を防止し、国民の助け合い・防災、減災意識の向上を促進することを目的に日本全国の日赤関連施設で展開されました。

東日本大震災では、マグニチュード9.0を記録し、非常に大きな揺れと巨大な津波によって、多くの尊い命が失われ、多くの方が被災しました。あの日から5年、「私たちは、忘れない。」の合言葉のもと、日本全国で、被災地の今に想いを寄せ、災害に向き合い続ける日赤だからこそできる、過去の災害から学び、未来の防災・減災を啓発しました。

私 たち は、  
忘 れ な い。



それぞれの空のした、こころに刻まれた「あの日」。明日のために、明日を生きるみんなのために。

あ の と き 、 豊 寿 園 の 職 員 も 被 災 地 で 支 援 活 動 に 参 加 し ま し た 。

東日本大震災発生時、日赤では直ちに被災地で自衛隊や各医療機関との連携のもと、被災者の医療・物資等の支援を行いました。

発生から一ヶ月を経過する中、被災した要介護高齢者への対応が課題となり、日赤が運営する全国の高齢者施設から職員を動員して、日赤としても初めての試みとして被災地へ介護チームを派遣しました。豊寿園からも坂根在宅介護係長、荒木通所介護係長、2階施設ケアマネの川上さん、ケアマネジャーの城戸さん、デイサービス生活相談員の大森さんの5名が、被災した高齢者施設で支援活動に参加しました。



2016  
Vol. 30

JAPANESE RED CROSS  
SOCIETY FUKUOKA  
PREFECTURAL CHAPTER  
THE SPECIAL NURSING HOME  
HOJUEN



spring2016

Vol.30

TOPICS

HOJUEN 'S ALBUM

AREA INFORMATION

CARE MEMO

MORE CROSS

SPECIAL SECTION

# FRUITFULL TREE

JAPANESE RED CROSS SOCIETY FUKUOKA  
PREFECTURAL CHAPTER THE SPECIAL NURSING HOME HOJUEN